

市政に対する一般質問

〳〳〳9名の議員が質問〳〳〳

9月定例会の一般質問は、9月20日及び21日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

電子投票を実施する断固たる

意思は何か

吉田 貞子

〔質疑〕電子投票は、全国的

展開こそが、端緒であり、最終目的と考える。現在、全国的な電子投票導入の流れは、大きく減退している。

この中で、当市が電子投票を実施する意義は何か。

電子投票機器を取り扱う企業も減少しているが影響はないか。

市民の声、トラブルなど、

2回の電子投票の検証と総括を十分行っているのか。

全国に先駆けてのモデル実施の検証に、まだ不十分なところがあると考えるか。

トラブルを起こさない体制整備は十分か伺いたい。

〔答弁〕電子投票を実施する

意思については、選挙というのは民主主義の根幹をなすものであるから、当然そこには疑問票や無効票がないことが望ましく、有権者の意思が正確に反映されるという観点から今後も継続していきたいと考えている。

電子投票機器については、電子投票を導入する自治体はまだ少なく、国内においても新規参入メーカーが出ないといった懸念もあるが、白石市に限って言えば、影響はな

いものと考えている。

電子投票の検証と総括については、平成15年に執行した市議会議員選挙については、選挙管理委員会で作成しており、市長選挙については、期

日前投票制度の導入のほかは大きな変化はなく、トラブル等の反省に立った選管内の内部分資料として作成したものがあ。課題として、財政支援の見直し、より慎重かつ確かな機器の管理運営、そして一部の選挙にしか使用できないということがあるが、有権者

の意思が正確に反映され、選挙結果が迅速かつ正確に知ることができ、自署が困難な選挙人の投票が容易になるなどの効果が大きいことが重要と受け止めている。

さきの市長選の検証等をもとに対処し、有権者に理解を得られる結果を出すことが必要だと思っており、市としても国政選挙等での導入要望をしている。

今後とも反省点を踏まえながら、環境整備について努めていきたい。